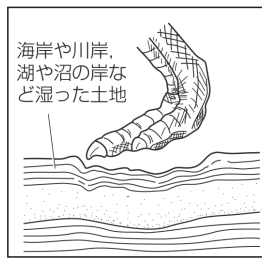


地層・岩石ー生痕化石，プレート

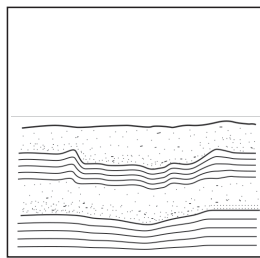
生痕化石

生痕化石とは、巣穴や食い跡、足跡、排泄物、卵、胃石など、生物が生きていた証拠となる化石のことです。

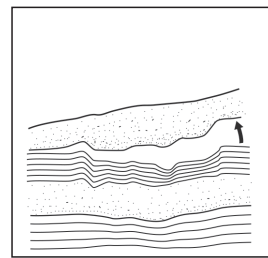
湿地などやわらかい地面の上を動物が移動すると、あし跡がつき、それが右の図のように化石となって保存されることがあります。



① 動物があし跡をつける。



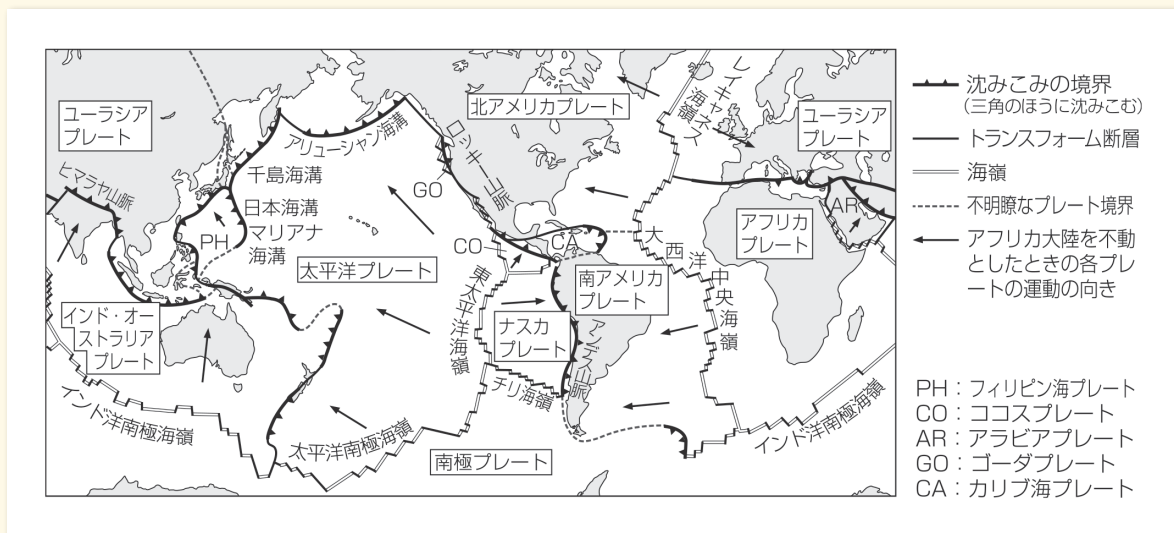
② あし跡の上に、新しい堆積物が堆積する。



③ あし跡化石となり、発見される。

プレート

地球表面のプレートの分布は、地震の震源分布、海底地形の調査などをもとに、下の図のように8つの大きなプレートと5つの小さなプレートに分布すると考えられています。



授業では、日本付近で4つのプレート境界が集中していることを強調するとともに、震央や火山の分布をもとにプレートの境界を予想するなど、地震・火山とプレートとの関係を学習させるとよいでしょう。

